

琉球大学学術リポジトリ

高等登録豚を作って豚の改良を促進しよう

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日越, 国吉 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20968

高等登録豚を作って豚の改良を促進しよう

沖縄に家畜登録協会が創立されて家畜の登録事業が開始されてから既に8年になる。これは家畜の改良に最も効果を現わすのは家畜を登録することと、共進会の開催に依る所が大きいと云う事実に基いて設立されたものであった。この8年間の間に沖縄家畜登録協会が取扱った家畜（牛、馬、豚、山羊）の頭数は2万頭に及ぼうとしている。この内種豚として登録されたものが約5,000頭以上に達している。

戦前は県外から移入された優秀な純粋種も種畜場から払下げてもらった血統正しいものも家畜の登録制度がなかった為に雑交されて系統不明になり信頼出来ないものになってしまい後はどうなったか判らなくなり改良の実が挙らなかった。

登録された豚から産まれた子豚も種豚登録の前準備とも云うべき子豚登記をして置いて生後8ヶ月以上になった時種豚登録申請をし合格すれば種豚登録証明書が交付されてその資質が保証されることになる。

子豚が登記されるには次の条件が必要である。

1. 同一品種の登録豚の間に生まれたものであること。
2. 品種の体型、資質、特徴を具えていること。
3. 発育が良くて見た所別に体に異常がないこと。
4. 正常な乳頭が12以上あってその配列が正しいこと。
5. 皮膚、毛も質が良いこと。
6. 同腹の子豚が5頭以上あること。

この子豚が生後8ヶ月以上になって発育の

状態が良い時に種豚登録の申請をして、審査員が種豚審査標準にもとづいて審査しその得点が70点以上あれば種豚として登録されることになる。

この種豚登録された雌豚が生後10ヶ月以上になって種付されて子豚を産み種雌豚産子検定を受けて合格すれば高等登録豚として証明される。10ヶ月以上で種付されたものと云う条件は若い豚を代々繁殖に供してゆく次第に子孫の資質が退化してゆくからそれを防ぐ意味からである。

高等登録豚になる条件の種雌豚産子検定は次の通りである。

1. 分娩した場合の子豚の数は次の通りでなければならない。

バークシャー	7頭以上
ハンプシャー	8　　ク
チエスターホワイ	8　　ク
ランドレース	8　　ク

2. 生産子豚中に次の事項があれば検定を受ける資格がなくなる。

(イ) 陰嚙、片嚙、ヘルニヤ、鎖肛（肛門がないもの）腔肛（腔に肛門が開いて糞尿が腔から排泄されるもの）。

(ロ) 乳頭が12個に満たないものが2割以上ある場合。

3. 育成頭数……これは最初母豚につけた子豚が21日目に8割以上育っていなければ検定を受ける資格を失うが、その残っている子豚の数によって点数が与えられる。

バークシャー

頭数	6頭	7	8	9	10頭以上
標点	1	2	3	4	5

ハンブシャー
チエスターホワイト
ランドレース

頭数 7頭 8" 9" 10" 11頭以上

標点 1 2 3 4 5

4. 子豚の総体重

分娩後21日目の生存子豚全部の重さの成績によって点数が与えられる。

総体重 30kg以上 35" 40" 45" 50"

標点 1 2 3 4 5

5. 発育斉度……これは分娩後21日目の子豚について一番重い子豚と一番軽い子豚との体重の差が小さいもの程良い点が取れる。例えば一番重い子豚が6kg(10斤)あって一番軽い子豚が4.5kg(7.5斤)あれば75%の発育斉度として採点される。

即ち

発育斉度 60%以上、70" 75" 80" 85"

標点 1 2 3 4 5

以上育成頭数、子豚総体重、発育斉度の合計点が9点以上あれば高等登録豚として合格するわけであるが、9点以上の場合でも育成頭数、子豚総体重、発育斉度の何れかが採点基準の最低に達しない場合は合格出来ないのである。

6. 次の事項があれば子豚一頭について1点づつ減点される。更に同一の減点事項(イかロに関係するもの)のものが三頭以上もあると不合格になる。

(イ) 種類の型質、特徴を具えないもの。

(ロ) 乳頭が12個に満たないもの。

高等登録豚は以上の様な条件に合格したものでなければならぬが、今までの所沖縄には高等登録に合格した豚が一頭もないのは残念である。高等登録の外に更に名誉高等登録と称する最高の資格のものもあるがこれも今までの所まだ出ていない。

高等登録豚が重んぜられる理由を説明すると次のことが云える。

1. 遺伝因子が固定化されて、その子孫には悪い資質のものは産まれない。
2. 良質の肉が多く取れる体型をしている。
3. 多産の性質をもっている。
4. 子豚の総体重が重いことは母乳の分泌が多いことを示している。
5. 同一腹の子豚の各々の体重に差が小さいことはどの乳頭も平均してよく乳が出ることを証明している。
6. 哺育頭数の多いことは丈夫の子を産む性質があることの証である。

以上の様な資質を持つ豚から産まれたものを育てれば繁殖用にしても、肉用に仕向けても誰もが立派に成功すること間違いのないのであるから是非この様な豚を沢山出して沖縄の養豚業を有利に発展させる様願っている。

沖縄には間違った古い諺(ことわざ)みた様なものがあって豚の改良をおくらせた様な感じがする。

「乳クチ(乳頭)は少ない方が良い」。とか「哺乳中の母豚は瘠せる豚ほど良い豚」だとか云はれて来たのがそれである。

昔の改良されない小型の豚に乳頭が沢山あれば各乳頭が接近し過ぎて子豚はせり合って喧嘩するであろうし又乳頭がくっつき合っていると乳の出方も少ないのである。現今の豚は大型になって胴も長いから乳頭も12個以上が要求されその並び方も配りも正しくなければならぬとしてある。そうなければ多産の子は育てきれない。

(日越国吉)